



質問者
松井重樹議員

竜野駅に
ブランド
デザインを

デザインを

問 ランドマークとして竜野駅の将来像が、どんな到達点に達し、あるいはとどまるにしろ、住民・利用者の理解を得るためには、軌道・駅舎とも高架することの是非から説きあかす必要を感じる。

答 軌道高架は考えていない。エレベーター設置などバリアフリー化の推進と併せ、駅舎橋上化を基本とした整備計画をJRと協議し進めていく。

問 周辺整備は、区画整理を立ち上げるのであれ、土地の先行取得であれ、ルート確定時期をどう考えているか。

答 ルート確定及び土地先行取得は、現在のところ考えていない。現在進めている大型プロジェクトの完成後の検討となる。

まちづくりの主役としての土地所有者や地域住民の意思が大切であり、また強い熱意と協力を必要とする。

問 グランド・デザインを公募することを提案する。都市基盤、まちづくり構想を、半年〜一年の応募期間を設けた本格的コンペで競わせる。具体的構想を目前に示すことは、地権者・利用者・市民の心を揺り動かすことに有効だ。

答 合併が粗上に乗ったころ、いの一歩に手掛けることを考えた。しかし、あれはだめ、これはだめと地元を知る方々に言われ、袋小路におちいった。

揖保川支所の利活用

問 揖保川はたつの市の背骨であると同時に、兩岸を分断する「くさび」。一朝事ある時は、本庁が位置する東岸に対する副次的拠点が必要になる。北の新宮支所・南の御津支所。その中央に位置する揖保川支所の存在が、期待される。よって、平時から主機能を分駐することへの所信を伺いたい。

答 在の教育委員会の配置は恒久的なものではない。将来的には組織機構全体から考えていきたい。防災面の副次的要因から考えることは、これまでの発想にはなかった。公共団体向けの会議室開放を昨年度から始め、今後は市民参加のまちづくり拠点、市民サービス向上のための公共施設として機能を生かせるよう努めていく。

ふるさと大使の創設

問 現在予算上に現れる、対外的な「ふるさとたつの」伝達の人的具現者は「東京たつの懇話会」、「ミスたつの」のみ。市内外への意識付けを深めるため、制度創設の研究を勧める。

答 情報発信の現状に決して満足していない。ふるさと応援寄付金の納付者との絆、職員自らが自認する活動などを通じてもPRに努めていきたい。指摘の「ふるさと大使」についての調査研究を始めた。



質問者
三木茂毅議員

龍野公園等に車椅子用、オストメイトイレと標識の設置を

イレと標識の設置を

問 障害者にやさしい街として、障害者に安心してきていただけるよう、障害者対応トイレの増設とトイレがあることが良くなる標識の設置をすべきと思うが、また観光案内所チラシにもトイレの標識をすべしと思うが。

答 龍野公園や中川原公園等については、オストメイトトイレの設置について検討していきたい。標識は、観光案内のサイン計画や町並みや景観等に配慮し設置できるか調査したい。案内チラシへの標識も協議検討したい。



たつの市 市役所玄関

龍野実業高校跡地を

介護施設に

問 特養ホームの入所待ちの人が1施設300人と言われています。今後高齢化が進み、15年後には高齢化率30%を突破し、3600万人が65才以上となり、それに対して介護施設が不足しており早急な対応が望まれる。龍野実業高校は、未使用になって約1年。建物も立派であるし、敷地面積も

答 ゴミのリサイクルの効果をも市民に周知を

問 ゴミの分別収集、資源ゴミの回収を始めて10年になるが、ゴミがどうい経路で何に再利用、還元され、どれだけの効果を上げたか、広報等で市民に知らせるべきでは。

答 ゴミの減量化についてはこれまで広報等でお知らせしておりますが、今後も市民への周知に努め、ゴミ減量化及び資源ゴミの分別意識の高揚に努めたい。



たつの市 本竜野駅